



インターネットでの情報提供	
提供予定日	1月27日

平成23年1月26日(水) 県政記者クラブ配布資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
農産園芸課	水田農業担当	田口 博康	(直通)058-272-8436 (内線)2867

## 県職員が集落営農の組織化をサポートします

本県の中山間地域においては、農家戸数19戸以下で農家人口の高齢化率が50%以上である小規模・高齢化集落が126集落あり、これらの集落について担い手の有無等について、本年度調査を行った結果、110集落が農業の担い手である認定農業者や集落営農組織がなく、集落の存続を考えるうえで、農業の担い手対策が喫緊の課題となっています。これらの地域において農業を継続するためには、共同で農作業等を行う集落営農の組織化を進めることが必要です。

そこで、県ではこれらの地域から5カ所をモデル集落として選定し、県職員による「集落営農組織化支援チーム」を編成し、直接モデル集落に出向き集落営農の組織化を強力に推進します。

また、「集落営農組織化支援チーム」のサポートのもと、就農希望者が、「集落営農サポーター」としてモデル集落に駐在し、集落活動、農作業を実践し、集落や地域の農業等を理解することにより、その後、集落営農を担う中心的な人材であるオペレーターとして活動することを目指します。

### 1. 選定したモデル集落

- 岐阜地域：本巣市根尾能<sup>のうごう</sup>郷集落
  - 可茂地域：白川町下佐見室<sup>しもさみむるやま</sup>山集落
  - 東濃地域：土岐市鶴里<sup>つるさとちようかきのにしまち</sup>町柿野西町集落
- 残り2カ所については、現在選定中

### 2. モデル集落の選定基準

- 農業の担い手である認定農業者や集落営農組織がない110集落を対象
- 集落の存続に危機感を持っており、集落営農の組織化を強く希望している集落
- 集落営農組織化に際し、市町村、JA等の関係機関の協力が現に得られる集落

### 3. 「集落営農組織化支援チーム」の派遣時期 4月

- 県普及指導員は、2月からモデル集落における地域との調整を実施

# 集落営農担い手発掘サポート事業の取組体制図

